

にら栽培における炭酸ガス施用及び電照効果の検証

要約

にら2年株の栽培において、ウォーターカーテン保温と炭酸ガス施用、電照を行うことで、収量は多く、厳寒期の収量・葉幅の低下が少なく、収穫までの日数が短くなった。

○ 展示のねらい

早期捨て刈り連続収穫では徐々に葉幅が低下することによる収量及び品質の低下が課題であり、葉幅を確保した収量品質維持・向上につながる栽培技術の確立が望まれる。そこで捨て刈り保温後の炭酸ガス施用と、電照実施による収量及び品質の向上効果を検証する。

	処理の内容
供試区	ウォーターカーテン保温 + 炭酸ガス施用* + 電照**
対照区	ウォーターカーテン保温

品種：ゆめみどり、播種：令和元年3月2日、定植：令和元年6月1日

収穫開始：(供試区)令和2年11月10日、(対照区)令和2年10月29日

処置期間：炭酸ガス施用、電照とも、令和2年11月16日～令和3年2月26日

*炭酸ガス施用：「ちびセラML-40S」を使用し、捨て刈及び収穫後に草丈が10cm伸長した後、日没後から2時間施用。

**電照：「LDA7R-66-1」を使用し、捨て刈及び収穫後に草丈が10cm伸長した後、中央通路上の高さ200cmの位置に全光束150lmの電球を3m間隔に付け、日没後から2時間照明。

○ 主な成果

- ・10a当たり換算収量は、収穫1回目から4回目まで、供試区が多かった。厳寒期の2回目から3回目までの収穫までの生育日数は、供試区が短かかった(表1)。
- ・厳寒期の葉幅、AL率とも供試区で低下が少なかった(表2、3)。

表1 収量 (kg/10a)

処理区	1回目	2回目	3回目	4回目	合計
供試区	2,598(37日)	2,297(42日)	1,698(48日)	2,098(33日)	8,683
対照区	2,453(32日)	1,658(40日)	978(56日)	1,511(36日)	6,982

※()内は収穫までの生育日数。

表2 葉幅 (mm)

処理区	1回目	2回目	3回目	4回目	平均
供試区	8.8	7.6	6.7	8.8	8.0
対照区	8.3	7.9	6.2	8.3	7.7

表3 AL率 (重量%)

処理区	1回目	2回目	3回目	4回目	平均
供試区	88	60	26	60	61
対照区	93	67	1	29	48

○ 今後の方向性

早期保温ハウス2年株の収量・品質低下対策として活用する。

実施機関：上都賀農業振興事務所経営普及部

実施場所：鹿沼市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315